



八小だより

令和2年 4月6日 No. 1
国立市立国立第八小学校
〒186-0004 国立市中 1-3-1
TEL 042-576-8791 Fax 8792

はじめまして

校長 内田 辰彦

4月1日付けで国立第八小学の校長となりました内田辰彦と言います。前任は西東京市教育委員会に勤めておりました。縁あってこの国立第八小学校の校長となったことにたいへん喜びを感じております。卒業式の翌日である3月26日に初めて八小に来ましたが、校庭の桜が満開で、その姿がレモン色の校舎をバックにしてよく映え、素敵景色でした。また、校庭解放に訪れていた子供たちが元気に遊ぶ姿も見られ、いっぺんで八小が大好きになりました。どうぞよろしくお願いたします。

この4月は新しい学習指導要領が全ての教育課程の中で実施されるスタートの月です。新しい学習指導要領では、学校で学んだことが、子供たちの「生きる力」となって、将来につながっていくことが示されています。そのために、学校での学びを日常生活で活用したり、ご家庭での経験を学校生活に生かしたりすることが大切になります。学校では、主体的、対話的で深い学びの視点で授業改善を行っていくとともに、新たな課題についても適切に対応していきます。

例えば、英語の学習が始まります。3・4年生は外国語活動が週1時間、5・6年生は外国語科が週2時間学ぶこととなります。それに対応して、教員とともに外国語指導助手(ALT)と一緒に子供たちの学びを支援します。プログラミング教育では、論理的な思考を養うための内容を計画的に実施していくとともに、AI機能を搭載したプログラミングロボットを用意して、実践的なプログラミングの学習が行える環境を整えます。

主体的な、対話的で深い学びに関する授業改善については、本校独自の「くにたち∞(エイト)」という学びを進めます。これは、平成28年度の校内研究で考え、これまでも実践してきた取組です。主体的、対話的で深い学びを実現していくために、学びの「技」を8つの項目に整理しました。1 問題設定、2 仮説設定、3 情報収集、4 情報整理、5 論理的に考える、6 発表・表現、7 発想を広げる、8 対話的に学ぶ この8つの技をまとめて「くにたち∞(エイト)」とし、発達段階や教科の特性に合わせて子供たちが身に付けられるようにしています。

一方で、昨年度の学校評価における学校関係者評価の指摘事項には、「発表」について肯定的な回答率が低いことや「発表」について児童相互のやり取りを重視する旨の指摘をいただきました。また、児童アンケートでも授業中に発表することが苦手だと回答する割合が5割近くあることもわかりました。

そこで、本校では今年度の校内研究の主題を「自ら考察し、表現する力を育成する算数科授業の創造」とし、協働学習を活かした指導方法と評価方法の開発を目指してまいります。

くにたち∞



最後に、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、新学期は始まりますが、休校の措置を約1か月ほど延長することになりました。登校日を週1回設け、休校中の子供たちへの課題等をお伝えして参りますが、ご家庭におきましても、家庭で行う学習等につきましてもご協力いただきますようお願い申し上げます。